

してから、100~200倍で検鏡する。

⑧ 測定法はいろいろあるが、簡略法は16中区画の中の任意の5

か所を選び(図-8)、その各々の中区画を図-9に示すそうにかぞえ5中画分を合計すれば、80小区画分

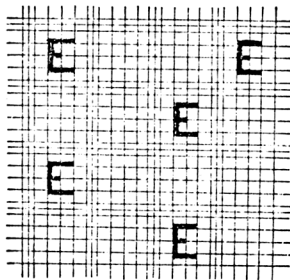


図-8 トーマ氏分画

の数が得られる。重複してかぞえないように、下辺および右辺上のも

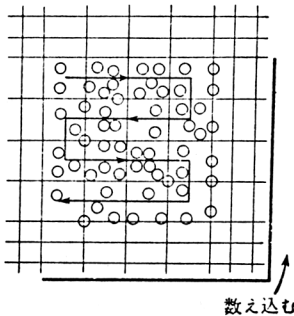


図-9 計算の順序

はかぞえ、上辺および左辺上のも

はかぞえないようにする。

80小区画の総数をSとすると、 $1\text{mm}^3$ 中の赤血球数xは次の式で求められる。

$$x = \frac{S}{80} \times 4,000 \times 200$$

(1小区画の) (1小区画の) (希釈倍数)  
(平均血球数) (1/4000mm<sup>3</sup>)

$$= S \times 10,000$$

すなわち、80小区画の総数を10,000倍すれば $1\text{mm}^3$ 中の赤血球数が求められる。

なお、計算室内の赤血球が均一に分布されていることが大切で、各16区画内の算出値の開きが20以内でなければならない。

(2) 白血球の計算

① 白血球用メランジュールを用いて、赤血球測定の場合と同様の手順で行う。

② メランジュールの0.05の目盛まで採血した血液にチュルク氏液を1.1の目盛のところまで吸い上げて希釈する。これで原液の20倍に希釈されたことになる。

③ これを赤血球の時と同様によく振とうして計算盤に注ぎ、大区画内について白血球数をかぞえる。

④ その総数をMとすると、 $1\text{mm}^3$ 中の白血球

数yは次の式で求められる。

$$y = M \times 10 \times 20$$

(1大区画は) (希釈倍数)  
(1/10mm<sup>3</sup>)

$$= M \times 200$$

すなわち、大区画内の総数を、200倍すれば、 $1\text{mm}^3$ 中の白血球数が求められることになる。

(3) メランジュールの洗滌

① メランジュールの洗滌には、水流ポンプを用いて蒸留水、エチルアルコール、エチルエーテル、空気の流れに通して十分に乾燥させる。

② もしメランジュールの中で血液が凝固してとれない時は、細い針金で押し出し、クロム硫酸に3時間くらい浸して取り出し、よく水洗いしてから、上記の手順で乾燥する。

3 結果と考察

表-3 ヒヨコの赤血球数 測定例

区画 個所 回数	中区画(16小区画)の測定数						赤血球数 (1mm <sup>3</sup> 中)
	1	2	3	4	5	計	
1	54	49	40	39	48	230	2300000
2	42	43	40	48	50	223	2230000
3	47	42	56	48	45	238	2380000
4	40	51	46	40	49	226	2260000
5	46	49	38	43	45	221	2210000
6	46	41	44	39	46	216	2160000
7	38	44	51	39	45	217	2170000
8	51	49	37	39	50	226	2260000
9	41	54	43	49	50	237	2370000
10	49	52	45	45	48	239	2390000

表-3は、ふ化後3週間過ぎたヒヨコ5羽を用いて、実際に測定した結果を示したものである。

それは、写真-6のような計算室内の赤血球を150倍で検鏡しながら、任意に5カ所選んで、図-8の要領で同じ血球を重複しないように数え込